

第2次嬉野市総合計画（案）についての提言

1) 全体について

①成果指標について

- ・選出の理由を明確にしてもらいたい。（説明書きを入れた方がよいと考える）
- ・選出の仕方に統一性が見られないので、検討してもらいたい。
- ・重点施策の成果指標を別冊で取りまとめてもらう方法もあったのではないかと考える。
- ・これまでの計画で示された成果指標の検証はされたのか。
（達成したのか、成果が分からない）

※現在の自治法では総合計画策定の義務はないが、策定するのであれば実現可能な計画にすべきと考える（絵に描いた餅にならないように）。

※行政のための総合計画ではなく、市民のための総合計画なので、市民にわかりやすい文言で表現してもらいたい。

- ②「嬉野市おもてなし条例」が反映されていない。おもてなし条例は例規集の総規に位置づけられているが、嬉野市としての色を出すために盛り込むべきではないか。
- ③市長の任期にあわせた4年の基本計画であるならば、もっと市長の公約を計画として反映すべきではないのか。

2) 各ページについて

P.4 計画策定のポイント (6) 成果を評価できる計画

見出しを「計画策定のポイント」から「計画策定のポイント及び進め方」とし、「目標の共有と成果の検証をできるようにするため、目標値を設定しています。」これに計画の進行管理・行政評価を行うことを追記してもらいたい。

P.10 計画策定の背景 3 人口ビジョン

人口ビジョンの中に、地域の特性を入れてもらいたい。

P.12 計画策定の背景 将来展望

「企業誘致、商工業・農業の振興による雇用創出、経済活動の活性化」とあるが、P.25 各分野の関連する主な施策においても、もっと大きく(大きな見出しで)採り上げてもらいたい。

P.27 健康長寿プロジェクト 各分野の関連する主な施策

福祉・健康づくり

2025年社会問題を抱える中、超高齢化社会の視点を基本構想に入れるべきと考える。P.27の関連する主な施策（福祉・健康づくり）に「介護予防の推進」を追加すべきと考える。

P.36 4-1-1 妊娠・出産・子育て

施策展開 3 子どもと子育てする親が笑顔になれる憩いの場を創ります、の中に「子育て世代包括支援センターの設置」は計画されているので明記すべきと考える。

施策展開 4 ニーズに応じた保育サービスや保育施設の充実を図ります。

「◇多様な保育のサービスの充実」とあるが、「障がい児保育の支援」を別に明記すべきと考える。

施策展開 6 子育てにかかる経済的支援を充実します。

「みなし寡婦控除支援」を追加すべきである。(嬉野市の特色として入れるべきと考える)

P.52 4-2-2 自然と都市

施策展開 1 自然を守り、良好な自然環境を維持します。

P.15「受け継ぐ財産を次世代に繋ぎます」と「私たちの決意」にあるが、水資源をいかに守っていくかという戦略・対策が施策として明記されていないのではないかと考える。

施策展開 3 土地の合理的な利用を図ります。

「大規模太陽光発電施設の適切な設置促進」は「促進」を取り、施設等と表記する事で太陽光を含めた再生可能エネルギーとすべきではないかと考える。「大規模太陽光発電施設の適切な設置」とすれば乱開発防止の意味となるのではと考える。

施策展開 4 自然と歴史を感じられる良好な景観を形成します。

「緑地を感じられる街づくりの推進」を「みどりを感じられる街づくりの推進」に変えられないかと考える。

P.52 一人ひとりの役割

「緑化運動に取り組みます」を「緑化運動の取り組みに努めます」とした方が良いのではないかと考える。

P.54 4-2-3 住まい

施策展開 1 公共と民間が連携して住宅の安定的確保に努めます。

「空き地の分譲の促進」は公用地か民地の空き地か、または両方を指すものか、分からないので、検討を要する。

P.58 4-2-5 上水道

施策展開 3 水道事業サービスの向上を図ります。

「「うれしのの水」の販売推進」について、うれしのの水は、非常用である。販売を目的としないのであれば、販売推進は取り消すべきと考える。

P.60 4-2-6 下水道

施策展開 1 効率的な生活排水施設の整備を推進します。

観光地として、市街地を流れる水路の環境整備も重要な課題となってくるため「観光地としての市街地を流れる水路の環境整備」を盛り込んではどうかと考える。

P.60 施策展開 4 災害に強い下水道施設を整備します。
GIS（地理情報システム）、下水道 BCP（業務継続計画）の推進がなぜ災害に強い下水道施設の整備に関連するのかわからないので、その説明文を入れてはどうか。

P.60 施策展開 5 経営の安定化による持続可能な事業運営を目指します。
「使用料金の適正な見直し」に「公平・」を加えて「使用料金の公平・適正な見直し」とした方が良いのではないか。

P.65、66 消防・防災

県の玄海原発事故による避難計画の記述も必要と考える。

P.73 4-4-1 農業

施策展開 3 経営の安定化と収益性アップの「攻めの農業」を目指します。

「多品目の栽培による複合経営の推進」を盛り込んでどうか。

市長マニフェスト中、未来がほほ笑む農業戦略で「ドローンや ICT、AI などの先端技術で効率化」とあるが、これについては、施策展開 2 に「生産コスト低減策の支援」と大枠のみ記載してある。より具体的な方向性としての市長のマニフェストの明記を検討してはどうか。

P.73 施策展開 5 安全・安心な農産物の提供に努めます。

「オリンピック、パラリンピックを見据えた GAP 認証の取得推進」については、オリンピック・パラリンピックのためだけにするものではないため、入れるのであれば「GAP・HACCP 認証の取得推進」が良いのではないか（GAP・HACCP の注釈を入れる必要があると考える）。

P.73 施策展開 6 うれしの茶の生産振興に努めます。

「うれしの茶の生産振興に努めます」について、生産だけでなく販売も含む全体としての振興のため、「うれしの茶の生産振興・消費拡大に努めます」とした方が良いのではないか。

「各種協議会・団体等への活動支援」を「各種協議会・団体等への活動支援及び組織力の強化」としてはどうか。

P.74 施策展開 7 地産地消の意識を高め地元産物の消費拡大を図ります。

「学校給食への地元産の農畜産物の積極的活用」については、今までの総合計画にもあるが、計画と実情に乖離がある。本当に取り組むのであれば、地元生産者との協議を重ね、現状に即した実施計画を練るべきであると考えます。

P.74 施策展開 10 嬉野産ブランド力の向上と交流型農業の拡大を図ります。

「茶ミット」の開催とあるが、市のイベントではなく支援をしている行事であるため、記載するものでない。代わりに「全国お茶まっりの開催」を盛り込んでどうか。

P.75 4-4-2 林業

現状と課題

「市営広川原キャンプ場の管理運営及び管理人は広川原愛林組合へお願いしていますが」とあるが「広川原愛林組合」の固有名詞は控えるべきであり、削除した方が良いのではないか。

P.76 施策展開

施策展開の中に市有林を活用しての施策の記述がない。雇用・販売・利用促進等、市有林に関する何らかの計画を盛り込んでどうか。

P.79 4-4-4 観光

現状と課題

外国人観光客はアジア圏とあるが、P.28 では東アジア圏になっている。ここも東アジア圏の表記にすべきと考える。

P.80 施策展開 5 外国人観光客誘致を強化します。

外国人観光客誘致のインバウンドで佐賀空港との連携も必要ではないか。

P.84 4-5-1 学校教育

施策展開 2 豊かな人間性とたくましい身体の育成を図ります。

- ・「いじめ対策」については「生きる力の教科書」の中で取り上げているとあったが、「いじめ」の問題は大きなことなので「いじめ対策の推進」と単独に明記すべきと考える。
- ・難しい文言を使わず、わかりやすい言葉で又は注釈をつけてもらいたい。(インクルーシブ教育、ユニバーサルデザイン化された指導など)

P.88 4-5-3 歴史・文化・芸術

計画の中に長崎街道の宿場まちとしての文言を明記してもらいたい。

P.90 4-5-4 スポーツ

施策展開 3 新たなスポーツとの関わりを創造します。

P.25 の関連する主な施策（教育・文化・スポーツ）にも「官民協働のスポーツコミッション組織の育成」を明記すべきと考える。

P.93 4-6-1 人権

「人権」についての文言は基本計画には入っているが、基本構想に入れるべきと考える。

P.94 施策展開 2 多文化を理解し認め合える環境づくりを進めます。

多文化共生意識の醸成とあるが、具体的な今後の取り組みを示してもらいたい。

- P.94 施策展開 3 障害の有無を超えた共生意識の啓発に努めます。
ノーマライゼーションと障がいの有無を問わず共有できるは同じことを表現している
のではないか。
- P.94 施策展開 4 すべての人を虐待、暴力から守ります。
「警察等との連携強化及び関係機関との協力体制づくり」とあるが、「関係機関等との
協力体制づくりや警察等との連携強化」の表現が良いのではないか。
- P.98 4-6-3 住民自治・住民参画
施策展開 1 地域コミュニティへの理解を深めます。
下線部について、検討を要する。
住民自らによる地域の課題の洗い出しによる「地域計画」の修正
- P.98 施策展開 2 住民自治による地域活性化を推進します。
下線部について、検討を要する。
自らや地域などの身近な問題に自発的に気づき解決を図る姿勢、習慣の醸成
- P.98 施策展開 3 地域の力を高める取り組みを推進します。
「クラウドファンディングによる地域づくりコミュニティビジネスへの支援」をもう少し
し解りやすい表現に変えられないか。